

令和2年6月1日

保護者の皆様へ

一宮市神山小学校PTA
会長 木村 哲也
一宮市立神山小学校
校長 前田 聡子

新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別を生まない指導について

標記の件につきまして、令和2年3月24日に文部科学省より「感染者、濃厚接触者とその家族、この感染症の対策や治療にあたる医療従事者とその家族に対する偏見や差別につながるような行為は、断じて許さないもの」とし、「このような偏見や差別が生じないようにすること」との通知がありました。

また、令和2年4月24日に日本PTA全国協議会より「いじめや差別、偏見を排除しよう」とし「ウイルスには誰もが感染する可能性があります。それが、たまたまあなたの家族、子ども達の学校や学級の友だちかもしれません。ウイルスは人を選ばず誰にでも感染してきます。そのことでいじめや差別、偏見が生まれることはとても悲しいことです。『正しく恐れる』べき相手は、ウイルスであって、感染症に立ち向かう人やそれに苦しんでいる人ではないはずです。今こそPTA会員全員が心を一つにして、いじめや差別、偏見を排除し、子ども達と家庭を守るためにできることをしっかり取り組んでいきましょう。」との日P会長よりメッセージがありました。

本校においても、新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別が生ずることがないように、下記の点に留意し、児童に指導を行っています。保護者の皆様におかれましても、このことについて裏面別紙をご覧ください、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。何かご心配やお気づきの点がございましたら遠慮なく学校にお知らせください。

記

- 1 新型コロナウイルス感染症についての正しい知識を持ち、感染拡大防止に係る策を講じる。
- 2 偏見や差別と思われる言動、配慮に欠ける言動等については、迅速かつ組織的に、適切に指導を行う。
- 3 不確かな情報が拡散することがないように指導する。

問い合わせ

神山小学校 教頭 28-8703

新型コロナウイルス感染症に関するお願い ～人権への配慮といじめの防止について～

【神山小学校のみなさんへ】

新型コロナウイルスの感染が全世界で拡大する中、日本中が協力して感染症の拡大防止に取り組んでいます。しかし、新聞やニュースでは、感染した人やその家族、真剣に治療にあたっている医療従事者、特定の国の人に対する偏見や差別が見られます。人を傷つける言動は許されないことですし、噂は不安をさらに広げるだけで問題の解決にはまったくつながりません。同じように、新型コロナウイルス感染症に関するいじめも絶対にあってはなりません。あなたの周りで、不安を抱えている人を見たら、優しく声をかけるなど、みんなで一緒に支えてあげてください。

もし心が傷ついた時は、一人で悩まず、すぐに家族や友人、学校の先生など、信頼できる人に相談しましょう。そして、だれもが安心して生活できる神山小学校を、皆さんの手でつくっていきましょう。

すること

- ・不安な人がいたら優しく声をかけよう
- ・一人で悩まず相談しよう
- ・自分も友だちも大切にしよう

しないこと

- ・人を傷つける言動をしない
- ・あいまいな情報を広げない
- ・間違った情報に惑わされない

【保護者の皆様へ】

学校では、新型コロナウイルス感染症について、「①新型コロナウイルス感染症についての正しい知識」、②「新型コロナウイルス感染症の予防について」、③「いじめや差別、偏見について」を、発達段階に応じて指導していきます。ニュースでは、誤った情報による感染者、医療従事者、外国の方等に対する差別やいじめ等が報道されています。不確かな情報に惑わされ人権侵害につながることを防ぐよう、正しい知識と認識を得られるようお話し合ってください。

また、お子さんのささいな変化に気づき、いじめに関わる心配等がある場合には、家庭だけで悩まず、学校や関係機関等と連携をとるようお願いいたします。

《いじめ相談テレフォン》	0120-779-110
《24時間子供SOSダイヤル》	0120-078-310
《子どもの人権110番》	0120-007-110
《チャイルドライン》	0120-997-777